

教室はまちがうところだ

まきた・しんじ

教室はまちがうところだ

みんなどしどし 手をあげて

まちがった意見を 言おうじゃないか

まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことを おそれちゃいけない

まちがったものを わらっちゃんいけない

まちがった意見を まちがった答えを

ああじゃないか こうじゃないかと

みんなで出しあい 言いあうなかでだ

ほんとのものを 見つけていくのだ

そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しく まちがいのない

答えをしなくちゃ ならんと思って

そういうとこだと 思っているから

まちがうことが こわくてこわくて

手もあげないで 小さくなつて

だまりこくって 時間がすぎる

しかたがないから 先生だけが

勝手にしゃべって 生徒はうわのそら

それじゃちっとも 伸びてはいけない

神様でさえ まちがう世の中

ましてこれから 人間になろうと

しているぼくらが まちがったって

なにがおかしい あたりまえじゃないか

うつむき うつむき

そうっとあげた手 はじめてあげた手

先生がさした

ドキリと胸が 大きく鳴つて

どつきどつきと 体が燃えて

立ったとたんに 忘れてしまった

なんだかぼそぼそ しゃべったけれども

なにを言ったか ちんぶんかんぶん

私はコトリと すわってしまった

体がすうっと すずしくなつて

ああ言やあよかつた こう言やあよかつた

あとでいいこと うかんでくるのに

それでいいのだ いくどもいくども

おんなじことを くりかえすうちに

それからだんだん ドキリがやんで

言いたいことが 言えてくるのだ

はじめからうまいこと 言えるはずないんだ

はじめから答えが あたるはずないんだ

なんどもなんども 言ってるうちに

まちがううちに

言いたいことの 半分くらいは

どうやらこうやら 言えてくるのだ

そうしてたまには 答えもあたる

まちがいだらけの ぼくらの教室

おそれちゃいけない わらっちゃんいけない

安心して 手をあげろ

安心して まちがえや

まちがったって わらつたり

ばかにしたり おこつたり

そんなものは おりやあせん

まちがったって だれかがよ

なおしてくれるし 教えてくれる

困ったときには 先生が

ないチエしほって 教えるで

そんな教室 つくろうやあ

おまえへんだと 言われたって

あんたちがうと 言われたって

そう思う だからしようがない

だれかがかりにも わらつたら

まちがうことが なぜわるい

まちがってること わかればよ

人が言おうが 言うまいが

おらあ自分で あらためる

わからなけりやあ そのかわり

だれが言おうと こづこうと

おらあ根性 まげねえだ

そんな教室 つくろうやあ

*越知町が研修で行きました「横浜市立南高等学校付属中学校」の掲示版の詩です。4月の生徒指導で

必須な内容です。今年こそ、よくお話しできる生徒

がいる学校を目指しましょう。自信がなくても手を

挙げる、間違えた意見も受け入れる子供がいる学級、

それが目指す学級です。教師の声より、生徒の声が

聞こえる教室・・・・・。